（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハピネス		
○保護者評価実施期間	令和　８　年　４　月　１　日　～　令和　８　年　５　月　１５　日		
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	３名	（回答者数）　３名
○従業者評価実施期間	令和　８　年　４　月　１　日　～　令和　８　年　５　月　１５　日		
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	５名	（回答者数）　５名
○事業者向け自己評価表作成日	令和　８　年　５　月　２５　日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	言語聴覚士が在籍し発語やコミュニケーションについて子ども一人ひとりの特性に応じた関わりや支援方法を支援方法を職員間で共有している。	遊びや日常活動の中で、コミュニケーションを育て、『伝わった』『できた』と感じられるよう成功体験を大切にしている。	子どもが安心して思いを伝えられる環境づくりを継続して行っていく。
2	保護者との連絡・相談体制が整っており安心して利用できる環境づくりに努めている。	子どもの特性に応じて個別支援活動や環境調整を行っている。	保護者や関係機関との連携を深めて行きたい。
3	子どもが安心して活動できる様な環境設定や視覚化支援を行っている。	掲示物等を活用し視覚化する事で分かりやすい環境づくりを行っている。	子どもの特性に応じた環境整備をさらに工夫していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流会や地域活動への参加機会が少ない。	・日々の支援業務を優先する中で、地域交流や外部連携の時間確保が難しい。 ・行政との関わりも薄いので地域資源等分からず地域との繋がりを持つ機会がない。	・地域行事や交流活動への参加機会を増やしていく。 ・町の社会福祉協議会等へ足を運び現在の活動状況を確認し地域資源の確認を行い情報共有を継続していく。
2	保護者向けの勉強会は実施しているが参加率が少ない。	・保護者の就労状況により交流会や勉強会への参加が難しい場合がある。 ・研修会や勉強会の内容が保護者の思っている内容・課題と一致しない。	・保護者が参加しやすい交流会や情報発信方法を工夫していく。 ・事前に課題や内容等をアンケート頂き保護者のニーズに沿った研修・勉強会にしていく。
3	避難訓練を定期的に実施し、緊急対応マニュアルは整備しているが、保護者への周知が十分ではない。	・緊急時対応は実施しているが、安全確保の方法についても職員間で統一した対応の確認を継続して行う必要がある。 ・保護者へも安心して頂けるように非常時対応についても情報共有が必要。	・避難訓練や緊急時対応訓練を定期的に実施し、安全管理の強化に努める。 ・LINEやお便り等を活用し、保護者への周知方法を工夫し情報発信をしていく。